

丸山製作所の電動作業台車・電動高所作業機が環境省補助金の対象

に 農業の脱炭素化を後押し

— 補助金活用により従来機との価格差の 2/3 を補助 —

株式会社丸山製作所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:内山剛治、以下「当社」)は、このたび、電動作業台車「MFB-06」およびリフト式電動高所作業機「MFH-G2500B」の 2 機種が、令和 8 年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(運輸部門等の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業のうち、農業機械の電動化促進事業)」の補助対象農業機械として登録されたことをお知らせします。

本事業は環境省の補助事業として、農業機械の電動化による CO₂排出削減と、農業分野における脱炭素化の推進を目的として実施されています。令和 8 年度の補助事業者募集は 2026 年 7 月 7 日(火)より開始されており、対象要件を満たした農業者等は、補助金を活用して従来機との価格差の 2/3 相当額が補助され、対象機械を導入することができます。

今回の登録により、当社は農業現場における電動化の普及促進と導入負担軽減にさらに貢献いたします。当社は、農業の省力化・効率化だけでなく、環境負荷低減にも貢献する製品の開発・普及を通じて、持続可能な農業の実現を支援してまいります。

■補助対象農業機械

1. 電動作業台車「MFB-06」



運搬車カテゴリーの補助対象農業機械として登録されました。

MFB-06 は、リフト作業・棚下作業・運搬作業に対応する電動作業台車です。荷台床面地上高を約 500~925mm まで調整でき、乗り降りや走行時の安全性にも配慮した設計を採用しています。

また、メンテナンスフリーのバッテリーと充電器を内蔵し、電動化による低騒音・低振動を実現。見やすい操作パネルや USB ポートを標準装備するなど、快適な作業環境をサポートします。

2. リフト式電動高所作業機「MFH-G2500B」



高所作業機カテゴリーの補助対象農業機械として登録されました。

MFH-G2500B は、果樹栽培における収穫やせん定などの高所作業を支援するバッテリーモーター式高所作業機です。

バッテリー駆動により低振動・低騒音で排気ガスを排出しないため環境負荷低減を実現するとともに、エンジンを搭載しないため燃料管理などのエンジン起因のトラブルがありません。簡単な走行操作とコンパクトな機体設計により、作業者の負担軽減と作業効率向上に貢献します。

また、バッテリーの満充電で約 2 日間の作業が可能で、農業現場における電動化の選択肢として環境負荷低減にも寄与します。

■ 農業現場の課題解決と脱炭素化への貢献

近年、農業分野では担い手不足や高齢化への対応に加え、環境負荷低減への取り組みが求められています。電動農業機械は、作業時の排出ガスを発生させないだけでなく、騒音低減や作業環境の改善といったメリットも期待されています。丸山製作所は、長年培ってきた農業機械開発の知見を活かし、農業現場の多様な課題解決に取り組んでいます。今後も電動化技術を活用した製品開発を推進し、農業の省力化・効率化と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

■ 補助金制度について

令和 8 年度「農業機械の電動化促進事業」は、農業機械の電動化による CO₂排出削減を目的とした補助事業です。補助対象農業機械として登録された製品を導入する際、一定の要件を満たした農業者等が補助金申請を行うことができます。募集期間は 2026 年 7 月 7 日(火)から 11 月 30 日(月)までです。

詳細は公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）の公募情報をご確認ください。

<https://www.jataff.or.jp/project/dendo-nouki/index.html>